様式第１（第 15 条関係）

会　　議　　録

会議の名称	令和６年度　第４回和泉市健康増進計画・食育推進計画検討委員会
開催日時	令和６年 10 月 24 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分
開催場所	和泉市役所３階　3AB 会議室
出席者 （敬称略）	【委員】 内藤委員長、永田副委員長、井上委員、中山委員、沖田委員、西川委員、早崎委員、市川委員、豆野委員、田中委員、上栫委員、石橋委員、藤原委員 【事務局】 子育て健康部：藤原部長 健康づくり推進室：藤原健康増進担当課長、出口総括主幹、川上総括主査、松本総括主査 受託事業者（三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング）：善積、草薙
会議の議題	和泉市健康増進計画・食育推進計画策定に関すること
会議の要旨	1. 開会 2. 議事 （1）前回の振り返り （2）「第４次健康都市いずみ 21・食育推進計画」（案） ①　第１章～第５章の修正 ②　第６章 健康づくり・食育推進に係る具体的な施策 ③　第７章 市民の地域・団体が主体的に取り組む健康づくり・食育推進 ④　第８章 計画推進体制・計画の PDCA・指標と目標値 （3）パブリックコメントについて（案） （4）その他 3. 閉会
会議録の 作成方法	□全文記録 ■要点記録
記録内容の 確認方法	■会議の議長の確認を得ている □出席した構成員全員の確認を得ている □その他（　　）
その他の必要事項（会議の公開･非公開、傍聴人数等）	公開 傍聴人　０名
審　議　内　容　（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	

1. 開会

事務局

開会のあいさつ（省略）

事務局

資料確認（省略）

2. 議事

(1) 前回の振り返り

事務局

資料 1 説明（省略）

内藤委員長

意見・質問がなければ、次の議事へすすむ。

(2)「第４次健康都市いずみ 21・食育推進計画」（案）

事務局

資料 2 第 1～5 章説明（省略）

内藤委員長

スローガン案についてご異議・ご意見はあるか。皆さん賛成ということで「一人ひとりがめざすウェルビーイングのまちいずみ」で決定する。第 1～５章についてなにかご意見はあるか。個人的には、ウェルビーイングは、健康寿命を包含しつつ、心理的・社会的な充実も含めた、より総合的な幸福度を指すので、ウェルビーイングを目指すことはよいことだと考える。市民からはウェルビーイングとは何かという意見も出てくることが考えられるので、意見交換しながら和泉独自のウェルビーイングについて検討していく活動もしていただきたい。

永田委員

ウェルビーイングの具体例があると伝えやすいと考える。計画の策定方針はしっかり記載できていると考えるが、それが伝わるよう具体例も示せるとよい。

内藤委員長

言葉どおりの世界の実現を目指すということが大事。それでは、第 6～8 章へすすむ。

事務局

資料 2 第 6～8 章説明（省略）

内藤委員長

6 章以降について何かご意見はあるか。

豆野委員

私どもは和泉市内公共スポーツ施設を管理しており、スポーツの実施に関わることは多いが、スポーツについてはきっかけづくりが重要であり、きっかけづくりになるような取組みを取り入れら

れるとよい。例えば体験会や測定会など。

内藤委員長

計画のお知らせや運動づくりの取組みについて、事務局の方で検討されていることはあるか。

事務局

計画を作成したことの広報については、広報誌での広告や、ボランティア団体などを通して情報発信していく予定である。また、スポーツのきっかけづくりの取組みについては、P.79 施策 2－1のところに、運動習慣の定着につながるイベントを実施する旨も記載している。

事務局 4 次計画の周知は、全戸配布を予定しており広く周知できると考えている。また、毎年1,200 人位の方が来てくださる健康まつりなどを通して周知も行う予定である。また、施策の進捗についても毎年評価を行う予定であり、しっかり進めていきたいと考える。

石橋委員

適切な睡眠について、適切とはどの程度か。世界の睡眠では 9 時間程度寝ているとのことであるが、特に日本は女性の睡眠時間が少ない。日本は寝ずに働くことが美徳と感じることはあるが、適切な睡眠時間についての情報・知識を提供するとよいのではないか。

内藤委員長

いろんな情報は溢れているが、適切な情報について行政からサポートする体制は大事だと考える。科学的に根拠のある情報について提供できるとよい。

石橋委員

先ほどの情報は 2021 年版 経済協力開発機構（OECD）の調査結果であった。

内藤委員長

男性より女性の方が寿命は長い傾向にあるため、睡眠以外の要素もある。

藤原委員

ウェルビーイングという言葉を使われるとのことで、身体的・精神的・社会的な健康という定義だが、P.80 健康チェックのように健康管理のためには自分の状態を知ることが重要である。健診で身体的な状態は把握できるが、精神面や社会面での状態も知ることができると、健康管理がしやすくなると思う。

中山委員

レイアウトについて、P.79 施策 1－③の最後の文のインデントがずれている。2-②の健康づくり推進室も同様。P.82 施策 6-②に空白行があるため、詰める必要がある。逆に、7.アルコールの文章最後には空白行を入れる必要がある。また、P.86 のプレコンセプションケアについて、市民には浸透していないと考えるので、（妊娠前の健康管理）など説明を加えた方が理解しやすいと考える。

内藤委員長

馴染みのない言葉については、巻末に用語集を入れるか、ページの下で解説やコラムを入れるなどして、言葉に馴染んでもらう工夫が必要と考える。

上栫委員

各基本方針の下の説明文について「～言われています」「～取り組んでいきます」と表現が混在している。具体的な施策を考えると「～言われているので～に取り組んでいきます」というように、

表現の統一をした方が伝わりやすい。

井上委員

高校までは教育の機会があるが、高校卒業後、たばこやアルコールに触れやすい年代に対して何か情報に触れる機会を作り、たばこやアルコールの影響への理解につながるようにした方がよい。高校卒業後の年代に、気軽に目にしてもらえるような施策ができるとよいと思う。

内藤委員長

高校卒業後、特定健診を受ける年代まで空白の世代となっている。計画書上でも中学から働く世代に飛んでいるため、AYA 世代に対して啓発するような仕組みを検討できるとよい。

石橋委員

P.92～93「過度な喫煙や飲酒」について、喫煙は過度でなくても良くないため「過度な飲酒や喫煙」と順番を変更した方がよい。

内藤委員長

「過度な」を削除してもよい。表現について工夫いただきたい。

石橋委員

「取組」と「取り組み」について表記を統一した方がよい。

豆野委員

P.84 施策 10-②「食を通じたコミュニケーションの機会を提供します」について、提供するとは具体的にどういうことか。

事務局（松本）

学校や保育園の給食など、楽しく食事を取る機会があると思うので、そのような意味で記載している。

豆野委員

現在の表記だと、市の方から何か機会を提供してもらえると捉えられる。

事務局（部長）

私もそう感じるので、表記について原課と協議する。

石橋委員

P.89 一番下の行 Facebook や Instagram は固有名詞になるため、SNS など一般名詞の方がよい。

内藤委員長

こちらは団体が実施することか。団体が実施するのであればどの媒体を使用するか分からないため、SNS とした方がよい。

永田委員

健康の指標で主観的に健康で幸せと思えている市民の割合について、改善率が低いと考える。ウェルビーイングの向上をスローガンで掲げているため、もう少し改善率を広げた方がいい。また、健康チェックでアプリを利用して自身の生活習慣や健康の記録を把握している人の割合という指標があるが、和泉市で推奨しているアプリがあるのか。

事務局

大阪府で運営しているアスマイルというアプリがある。また、民間のアプリなど様々なものがある。今回の指標は特定のアプリではなく、何らかのアプリを利用している人の割合とする想定である。

永田委員

アプリにこだわる必要があるのか。他のツールや工夫次第でチェックはできる。

内藤委員長

昔でいうと歩数計などもある。アプリに限定せず、何らかの機器を用いて自身の健康状態を定期的にモニタリングする習慣をつけましょうということであって、自分のデータを客観的に把握することとするのでもよい。

早﨑委員

P.84 施策 9－②について、現在小学校の給食時に手を合わせて挨拶をしないことがあると聞いたことがあるが、実際はどうか。

田中委員

一般的に中学校では実施していると思う。

早﨑委員

食育という言葉が無くなった地域もあると聞いているが、そのような流れはないか。

田中委員

食育メニューなどで、名称は使用しているためなくしていくという流れは無いと考える。

事務局

食育の関係課で集まっている会議もあるが、食育において感謝の気持ちを持てるように取組を進めようということになっている。

内藤委員長

宗教などに関わらず、食への感謝の気持ちを育むことは大事であると考える。

永田委員

いのちをいただくことや食を作ってもらうことに対して感謝の気持ちを育むことは、宗教に関わらず重要である。

市川委員

P.90 食育について関心を持ち、～という項目について、他の項目と照らし合わせてみると、妊娠期・乳幼児期について、妊娠期と乳幼児期に分けて具体的に記載した方が次のライフステージにつながりやすいと考える。乳幼児については、食べることについて関心を持ちましょう、など具体的に記載した方がいい。また、チェックのみ残されている箇所があるので消していただきたい。

内藤委員長

今回いただいた意見は集約し、次回の委員会で報告する。それでは、次の議事へすすむ。

(3) パブリックコメントについて（案）

事務局

資料 3・4 説明（省略）

内藤委員長

先ほど追加のご意見があれば次回で検討すると先ほど説明したが、次回の委員会は年明けの予定とのことだが、今後の進め方はどのようになるか。

事務局

本日いただいた意見を反映した計画書を委員長、副委員長にご承認いただき、パブリックコメントに出す予定をしている。その結果を次回委員会で報告する。また、追加でいただいたご意見についても取りまとめて反映し、委員長・副委員長に確認いただいて承認されたものを委員の皆様にも共有させていただく。また 12 月 4 日に市議会の委員会があり素案を提出することになっているので、それまでには取りまとめをする予定である。

内藤委員長

最終案を皆さまに共有し、了承をいただければ市議会厚生文教委員会へ報告する。その後、パブリックコメントを出して市民のご意見をいただく流れで間違いないか。

内藤委員長

問題なければ、次の議事へすすむ。

(4) その他

事務局

資料 5 説明（省略）

事務局（部長）

これまで副市長のほうからお礼を兼ねてコメントをさせていただいていたが、本日は公務で欠席のため、代わりにお礼の挨拶をさせていただく。本日は活発なご議論をいただきありがたく思う。5 年前にも計画の策定に携わっていたが、このような活発な意見は全く出ていなかった記憶がある。市が出した計画案に承認を出していただくという形で進めていたが、今回は毎回ご意見をいただき、委員の皆様の参画のもと計画を作り上げたと感じている。委員長・副委員長より計画の 5 章までについて 100 点という評価をいただいているが、皆さまからのご助言・ご協議のおかげだと思っている。第 6 章以降についても本日頂いた貴重なご意見を反映し、委員の皆様から 100 点と評価をいただけるような計画書を作成したいと考えている。まずは 12 月の議会において、藤原課長から委員の皆様の思いも議員の皆様にしっかりとご説明したいと考える。委員の皆様については、次回委員会においてパブリックコメントの意見も踏まえ、ご審議をいただきたいと考える。

3. 閉会

内藤委員長

よいものになりそうなので、皆さん楽しみに期待して欲しい。

それでは、第４回検討委員会を閉会する。　　以上